

氏名	川瀬 貴之
職名	法科大学院兼任講師
最終学歴	京都大学大学院法学研究科法政理論専攻博士後期課程修了
取得学位	博士（法学）[京都大学]

[略 歴]

年 月	事 項
平成 23 年 4 月	千葉大学法経学部助教
平成 24 年 8 月	千葉大学医学部附属病院講師
平成 26 年 4 月	千葉大学法政経学部准教授
平成 19 年 4 月	千葉大学大学院社会科学研究院准教授
令和 4 年 10 月	千葉大学大学院社会科学研究院教授

[社会における活動等]

年 月	事 項
平成 28 年 9 月	千葉県個人情報保護審議会委員
平成 31 年 4 月	千葉県救急医療センター倫理審査委員会外部委員

[主な研究業績等]

著書、学術論文等の名称	発行または 発表の年月	備 考
著書		
1. 『はじめて学ぶ法哲学・法思想 古典で読み解く 21 のトピック』（共著）ミネルヴァ書房、第三部第 6 章「多文化主義—多様な文化を尊重するとはどういうことか？」	平成 22 年 4 月	P 289—301
2. 『コミュニタリアニズムのフロンティア』（共著）勁草書房、第一部第 1 章「リベラル・ナショナリズム」	平成 24 年 11 月	P 10—29
3. 『リベラル・ナショナリズムの理論』（単著）法律文化社	令和 3 年 3 月	
4. 『ベルモント・レポートに学ぶ「いのち」の倫理』（単著）法律文化社	令和 4 年 1 月	
5. 『ヘイトスピーチの何が問題なのか』（共著）法政大学出版局、第 8 章「相対主義者は、ヘイトスピーチにどこまで対抗できるのか」	令和 6 年 3 月	P 193—208
論文		
1. リベラリズムとナショナリズム—道具的ナショナリズムのリベラルな正当化—、法学論叢、(一) 第 161 巻 6 号 131—143 頁、(二・完) 第 163 巻 3 号	平成 19 年 9 月 平成 20 年 6 月	P 138—155
2. 文化批判の作法—ジョセフ・カレンズの議論をてがかりに—、法哲学年報 2008	平成 21 年	P 173—180
3. デイヴィッド・ミラーの分配的正義とナショナリティ」、法学論叢、(一) 第 166 巻 4 号、(二・完) 167 巻 3 号	平成 22 年 1 月 6 月	(一) P 76—108 (二) P 80—97
4. 「ナショナリズムの一般原理の難しさ—国民国家の領域的主張の場合	平成 23 年	P 239—356

一」財団法人国際高等研究所『スンマとシステム』		
5. 「国民国家の集団的責任と過去の不正義の補償」千葉大学法学論集、第26巻3号	平成23年12月	P1-60
6. 「国際的な分配的正義に関する一試論」千葉大学法学論集、第27巻1号	平成24年6月	P31-98
7. 「臨床研究における診療と研究の価値対立の本質」千葉大学法学論集、29巻1・2号	平成26年8月	P446-410
8. 「臨床研究における被験者の自律尊重原理」千葉大学法学論集、31巻1号	平成28年7月	P130-71
9. 「臨床研究におけるリスク・ベネフィット評価」千葉大学法学論集、33巻1号	平成30年6月	P163-202
翻訳		
1. マイケル・オークショット著『増補版政治における合理主義』勁草書房「政治的言説」	平成25年9月	P471-498
2. シーラ・ジャサノフ著『法廷に立つ科学』勁草書房「第5章科学のコミュニティにおける法」	平成27年7月	P99-119
3. クリストフ・リュトゲ講演会、川瀬貴之・中井良太訳「自動運転車のための倫理：ドイツの事例から」千葉大学法学論集、第32巻3・4号	平成30年	P28-8
4. ジョエル・ファインバーグ著『倫理学と法学の架橋』東信堂「道徳的権利の擁護：その社会的重要性」	平成30年11月	P269-303